

G1 チャンピオンシップ 記録ログ完全版

2021年12月12日

チーム：眼鏡と熊と狐

メンバー

- ・ダッシュ熊（プロハンター）
- ・いんこ（プロハンター）
- ・如月一（Aランクハンター）

あらすじ

「この地図にはなあ、海賊王の遺した秘宝が記されてんだ。」
噂を聞きつけた我々に胡散臭い男は夢見るように語る。眉唾……と思うも、地図を手にする
と確かめられずにいられない。そんな性とも言える衝動に突き動かされ、宝探しに赴く
我々であった。

宝を求め我々の前に立ちふさがるのは数多の商売敵(ハンター)たち。まさに「弱肉強食」
の世界。

普通のハンターであれば強敵と競い誰よりも早く宝を見つけることは並大抵のことではな
い。しかし、我々であれば全く問題ない。なぜならこれまで数多のトレジャークエストを
こなし、1年間かけてプロハンターの中で最もハンターポイントを獲得してきた、いわば
百戦練磨の精鋭チームだ。この勝負、絶対に負ける訳にはいかない。

見つけてやろうじゃないか！「海賊王の秘宝」を！

1日目・朝

12月4日朝 10:00、愛媛県松山市三津浜港。

我々3人が当日朝の飛行機で東京から向かうと、そこには既に20人ほどのハンターの姿が
ありました。これから1泊2日を戦い抜くライバルたちは、皆1,000万円の使い道を話し
合っています。

「まさか本当に行われるなんて思っていませんでしたよ。未だにドッキリを疑っています。
皆様は1,000万円を何に使いますか？」

我々に質問してきた初心者ハンターは知らなかったのかもしれませんが。かつて「タカラッ
シュ！GP」の名で何度も100万円をかけた戦いが繰り広げられていたことを。

「宝探しを文化にしたい。人生にワクワクを。」その想いに偽りはなく。そう信じて、
我々はプロハンターの資格を取り、ここまで来たのですから。

「1,000万円とったら、来年以降の宝探しの軍資金にします！」

集合時刻になり、点呼をとってチャーター船に乗り込みます。

「重量オーバーになっちゃったから、万が一のために持ってきた非常食を今食べなくちゃ。」

そこには干し芋を口いっぱい頬張る熊さんの姿が。

松山の港から瀬戸内海を西に進んで40分あまり。今回の舞台となる「片島」が眼前に広がってきます。別名「ありが島」とも呼ばれるこの宝島が、その名前とは裏腹に恐怖を与えるのには時間はかかりませんでした。

「…え、この山って、山というか崖じゃないですか？これは、下手したら死ぬぞ。」

我々に突きつけられた現実。平均斜度30度の斜面。宝をいち早く探すには分担してひとりで行動することは必須。

だが、一歩足を踏み外すとそこは断崖絶壁の死の岩場。落ちて誰も助けてくれない。

「不安からくる恐怖心が一番危ない。常に音声を繋げて状況を逐一報告しながら歩くこと。我々は一人じゃない！」

これほどまでに仲間の存在を心強く思ったことはありませんでした！

島への上陸は、チャーター船からイカダに乗り換え、ロープを引っ張ってイカダを動かし、そして砂浜に飛び移らなければなりません。ロープを引っ張ってくれる現地スタッフの中に社長の姿。この宝探しにどれほど力を入れて準備されていたかが伺えます。

宝を誰一人発見することがなかったという結果になって大会が台無しになり、これまでの準備を無駄にするわけにはいかない。皆、そう心に誓ったのでした。

1日目・昼（弱肉強食ステージ）

乗客全員が無事上陸し、割り当てられたテントの中で探索の準備をした後、いよいよ12:30から宝探しが始まります。ハンターがログハウスの周りに一同に集ってルール説明が行われます。

宝探しは大きく2つのステージから構成されていました。

1 アベルの地図

今回の宝探しでは、無人島で生活するために必要な食料を自らの手で獲得する必要がありました。1日目から配られる「アベルの地図」によると、食料と交換できる木札がはいっ

た宝箱が20個隠されているとのこと。地図のいたるところに宝箱の在処が記載されていました。

アベルの地図では、ほかにも「ロック海賊団の鉄の錠」「海賊王の地図の在処」「海賊王の地図の鍵」の情報も書かれていました。

今回は食料集めの結果による弱肉強食ステージでの脱落はなくなったため、食料集めはほどほどにして、海賊王の地図に軸足を置いて探すという作戦をとることに。早速搜索範囲を3人で分担します。

如月一　　：初手で山頂に向かう

ダッシュ熊：死神の尾根を越え、東浜からドクロ溪谷あたりを搜索

いんこ　　：クリスタルの浜から迷いの森を経てタツノコ岬を搜索

この島は、どこに行くにも道なき道を駆け登らなければなりません。これが想像以上に大変！

ですが、苦労して登った島の上から臨む景色、特に尾根から左右に広がるオーシャンビュー。これこそ無人島でしか味わえない一生の宝になりました！

ここで感傷に浸ってはダメなのが宝探しの辛いところ。絶景もほどほどに地図とにらめっこしながら宝のありかを探します。

13:10、いんこがタツノコ岬で「岬に立つ珍獣」を発見し、そのそばにある4桁の海賊文字が書かれた紙を入手。

14:00、如月一が山頂に到着。山頂にいたアベルの末裔に島にいる野生のヤギの写真を見せ、海賊文字の解読表を入手。解読表を使って、タツノコ岬で入手した数字の解読に成功。

14:10、山頂近くで赤い旗のドクロを発見。近くの宝箱を解読した数字で開錠し、海賊王の地図をゲット！

我々は2時間以内に最初のステージを突破することを目標にしていたのですが、目標を20分ほど上回る1時間40分ほどで突破。これまで数多のタカラッシュの地図に慣れた我々は、ここまで極めて順調に進めることができました。さて、ここからがいよいよ本番です！

2 海賊王の地図

海賊王の地図は、アベルの地図とは打って変わって難解な構成となっていました。まずは地図の情報を紐解き、各自がどこを目指すかを検討します。どうやら船長、副長、航海長、測量長の鍵を入手し、その後それぞれの宝を入手しないと最後の海賊王の宝にはたどり着けないようです。

如月一　　：食料集めのため一度山頂を降り、ライフルを挑戦しにアジトに向かう

ダッシュ熊：引き続きドクロ溪谷周辺を探索したのち、山頂へ
いんこ　　：死神の尾根を下り人食い鮫の浜を探索

15:00 頃、ダッシュ熊が副長と測量長の鍵を立て続けにゲット。

15:40 頃、如月一がバイキング王の像から船長の鍵をゲット。

15:50 頃、人食い鮫の浜から命からがら戻ってきたいんこが、精霊の樹で測量長の宝をゲット！

その後、如月一といんこの2人がかりで副長の宝を探索するも、初日時点で見つからず。

17 時までに戻らないとペナルティが発生するため、本日の探索は 16 時過ぎに終了させて一同アジトに戻ることに。慣れない山道を 4 時間も駆け回り、すでに疲労はピークに。

結局、見つけた食料は 20 個中 13 個。肝心のビールは獲得できませんでしたが、夜の主食になるカレーとごはん、朝の主食になる菓子パンが獲得できたので、飢え死にの危機は免れました。

1 日目・夜

辺りはすっかり闇に包まれました。これまでに獲得した木札を食料と交換します。まずはスタッフの皆様が丹精込めて仕込んだ豚汁をいただくことに。無人島だというのに、出汁が効いていて絶品！この味は一生忘れることはないでしょう。

ゆっくり寛いでいる余裕はありません。22 時が本日の記録ログの提出期限です。記録ログの出来も順位に影響するため、せっかくの無人島ライフもほどほどに本気で取り組まなければなりません。

ギリギリの時間まで収録した素材を加工し、何とか提出。結果、10 チーム中 2 位という好成绩！これは 2 日目にも期待が持てます。

本日の作業が一段落し、浜辺を散歩することに。

雲一つない満天の星空、そして今宵は新月。

昔 88 星座を覚えた記憶が蘇ります。都会ではなかなか見られないオリオン座の M78 星雲までもがくっきりと見えます。

「確かこの時期はふたご座流星群が見えるんだったよな。」

上空を指さしたまさにその時。一筋にキラリと光る流れ星が！！

「1000 万円とるぞ！・・・ あ、もう消えちゃった」

「写真、納めましたよ！」「マジか！」

無人島で撮った夜空の写真は奇跡の一枚になりました。

2日目（海賊王ステージ）

スタッフの皆様が準備いただいたテントのおかげですっかり熟睡し、心地よい朝を迎えます。配布されたペットボトルの水を湯煎してカイロ代わりに。

初日の状況を整理し、開始直後の各メンバーの行動を検討します。

現時点で、測量長はクリア、副長と船長は鍵を見つけており宝が見つかっていない。航海長はシンボルの舵輪がまだ見つかってない状況。船長の宝は山頂近くの勇気の門、航海長の宝は同じく山頂付近の舵輪のそばにあることはわかっており、まずはこの2つを全力で入手することに。昨日見つかっていない副長の宝と孔雀の塔も確認したいところ。

如月一　　：山頂近くで舵輪と勇気の門を探す

ダッシュ熊：孔雀の塔を探す

いんこ　　：副長の宝箱を探す

8:00 に再びハンターが一同に集い、準備運動のあとにゲーム再開。

8:40、如月一が勇気の門から出る光に導かれた宝箱を発見。中には武器の入手方法が書かれた紙が入っていた。どうやら「緑の柱」に武器を指せばよいらしい。

8:50、山頂のアベルの末裔に行き、「赤い稲妻」ことレーザーポインターをゲット。

9:00、緑の柱を発見し、武器を使うことで船長の宝をゲット！

9:10、いんこが副長の宝をゲット！

9:20、ダッシュ熊が孔雀の塔を確認

9:30、如月一が舵輪を発見、その近くにあった航海長の宝をゲット！

これですべての情報は出揃いました。あとは条件に沿って海賊王の宝を見つけられればクリア…のはずでした。我々はここから2時間にわたる迷走を繰り広げてしまいます。

「2つを結ぶ線上って、何と何を結ぶんだろう？」

「最後はドクロを探すらしいけど」

「もしかして、島のあちこちにあったドクロの旗はリアルで一直線上に並んでいる??」

「とにかく、ドクロの旗の周りを丁寧に探していこう」

…どれほど探しても宝は見つかりません。周りは宝探しがどうでも良くなるかのような絶景。もしかすると海賊王の宝はこの絶景だったのではないか。いんこはそう考えながら、

昨日から何度通ったかわからない山羊の小道を歩いていました。小道の先には雛鳥の巣が見えます。

「…雛鳥の巣？」

諦めかけていたその時、いんこの頭にこれまでぼんやりと存在していた点と点が繋がる衝撃が走りました！

い「もしかして、最後の宝は雛鳥と孔雀の間にあるのでは！」

ダ「え？雛鳥と孔雀の間を探せばいいの？あー、なんかドクロの宝がありました！」

ダ「…中から剣が出てきました。報告しますね！！」

い「ちょっと待ってください！今からすぐに向かいますので！」

い「その剣は恐らく偽物です。鉄の掟を思い出してください。罠には注意せよとありましたよね。それは海賊王が仕掛けた巧妙なワナなんですよ。」

宝箱から入手した 6 枚の紙には、それぞれ 1 文字ずつ周りとは異なるフォントで書かれた文字がありました。その文字を続けて読むと「偽剣下真宝眠」となっていました。

い「これ、宝箱が二重底になっていますね。開けてみましょう」

11:51、宝箱の中から真の宝である黄金ドクロを発見！

結果発表

真の宝を発見できたのは 10 チーム中 5 チーム。我々のチームは 4 位という結果になりました。優勝チームの発見時刻は 10:32。我々が迷走せずにすぐに閃いていれば、十分に優勝できるチャンスはありました。

振り返ると、食料やテントは運営スタッフの皆様が至れり尽くせり準備いただき、宝探し以外のところで困難が生まれないような配慮を随所で感じることができた結果、リゾート地と見紛うほどの快適な環境で過ごすことができました。

スタッフの皆様は 10 月から複数回の現地準備を経て、本大会に備えたとのこと。丸 2 日間、かけがえのない体験をさせていただいたことは非常に感謝しています。そしてコンテンツも非常に面白いものでした。本当にありがとうございました。

今回はほんの一筋の閃きの足りなさが、1000 万円を取り逃がしてしまうという結果になりました。この悔しさは、次の G1 チャンピオンシップで取り返したいと思います。次回の

開催に向けて、我々の準備と挑戦は続いています！